

## 20年度予算編成に対する要望書

### 実現をめざし上田県知事に提出

2007.10.16

公明党県議団は19年10月16日、上田県知事に対して20年度予算編成に対する要望書を提出しました。今後、あらゆる機会をとらえて、その実現をめざし頑張ります。

平成19年10月16日

埼玉県知事 上田 清司様

埼玉県議会公明党議員団 団長 山本 晴造

### 20年度予算編成に対する要望

上田県政は、このたび、100万票以上の県民の支援を背に2期目のスタートを切った。「安全・安心に加え、福祉、環境の三つの視点で県政を刷新する」「最小の費用で最大の効果をあげること」「ゆとりとチャンスの埼玉プランの実行」という三つの指針を掲げ、「みどりと川の再生」「行革日本一」「女性のチャレンジ支援」の三大公約実現に向け、新たな決意で船出した上田知事に対し、我が党は、最大限の支援を惜しむものではない。心から期待する。

しかし、県内の状況は、景気が回復基調とはいえ、地域経済を潤すまでには、未だ至っていない。団塊世代の大量定年もいよいよ本格化し、超高齢化の波は本県にも着実に押し寄せている。さらに、少子化の流れにも歯止めがかかっているとはいえない。かかる状況の中、県民の願いは、'今の生活'の安定であり、'将来'への明るい見通しである。

このような中、「福祉の党」「生活与党」を標榜する我が党は、今一度、立党の原点に立ち返り大衆と共に大衆のために、全力で県政進展に取り組むことを新たに誓うものである。

この決意の上から、公明党県議団は、平成20年度予算編成に対する要望作成に当たり、県民の声に真摯に耳を傾け、次の5つの視点から、重点的に取り組むべきと考える課題、施策についてとりまとめた。

第一に税金のムダ遣いの徹底したチェック、第二に埼玉経済の活性化を図ること、第三に少子高齢化対策の重視、第四に教育への投資、第五に防犯・防災対策の充実・強化である。

これらの視点で、真に県民の願いが反映された平成20年度の予算編成がなされてこそ、上田県政2期目の成就も可能となるであろう。知事はじめ執行部の真摯な検討を願うものである。また、予算編成作業中の一定の時期を見計らって、中間的な回答をお寄せいただくよう、併せて要望する。

「20年度予算編成に対する要望書」はこちら